

支援プログラム

事業所名： MOMB 池田

放課後等デイサービス

作成日：令和6年12月16日

支援方針		「生きる力を育てる」を理念とし、社会性・向上心・自己肯定感を育てる支援	
営業時間		放課後： 11:30～17:30 休校日： 10:30～16:30	送迎：あり
		具体定期的な支援内容	
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来所時に荷物の整理整頓・手洗いを促し、各自検温、必要に応じて酸素濃度の計測を実施 ・ 睡眠時間の把握と必要に応じて睡眠の重要性を伝達（保護者様と共有） ・ 発語困難な利用者に対して 50 音表や手話等を利用し代弁の実施 ・ 発信の苦手な利用者には体調確認の声掛け 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ 晴れの日には外遊び中心の集団活動を実施、雨天時は室内でヨガ・ストレッチ・ダンスの取り組み ・ その場面に応じた姿勢保持の声掛け ・ 声の大きさの調整（具体的に）の声掛け ・ 自身と他者との受け取り方の違いについての声掛け 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他者の表情を見て自身の行動を考える声掛け・練習 ・ 集団で関わる時のルールやスケジュール、切り替えの重要性を日々練習 ・ 利用中でのスケジュールを計画して取り組む（集団活動以外の時間） ・ 予定の変更に対して受け入れる融通性の育成（状況や理由を理解し受け入れる） ⇒事前に変更になる可能性を伝える事で柔軟に対応できる。 	
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他者の特性等を考慮した対応ができるようになる。 ○利用者同士の助け合いの中でも、自立支援を考慮した支援 ・ 相手によって適切な言葉遣いの育成 ・ 自身の気持ちを言葉で表現する事の大切さを伝え育成する。 ・ 主語、述語を正しく使う事で他者に正しく伝わる事の大切さ（誤解を生じさせない言葉の使い方） 	
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的なルールやマナーを知る事 ・ マイルールを主張する事で他者が嫌な気持ちになる事の理解と改善 ・ 他者の感覚を受け入れ、自身の思いを伝える⇒話し合う事の重要性 ・ それぞれ人に合った距離の取り方を身に付ける声掛け ・ 場面を考えて自ら判断したり、行動に移せる力の育成 	
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用中の様子をできるだけ詳細に伝える事で保護者と情報共有を図る。 ・ 信頼関係を築き、双方ともに利用者を一番に考えた支援を工夫し実施する。 	
移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて利用中の情報を共有する。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・ 併用事業所との情報共有を図る。 ・ 必要のある利用者に関しては子ども家庭センターや学校、発達支援課との連携を図る。 	
職員の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用後の振り返りをこまめに実施し、記録に残す。 また非常勤スタッフにも情報共有する ・ 1回／月 事業所内研修を実施し、常勤、非常勤全員で意見交換する。 必要に応じて業務やサービス提供の改善につなげる。 ・ より効率的な方法を共有し合う。 	
主な行事		<ul style="list-style-type: none"> ・ 休校日中は季節や場面に応じたイベントを取り入れる。 （事前に保護者には伝達し希望を収集する事もある） ・ 4回／年 保護者懇親会（活動実践含む）を実施、事後アンケートを取る事でより有意義な内容になるよう工夫をする。 	

支援プログラム

事業所名： MOMB 池田

児童発達支援

作成日：令和 6 年 12 月 16 日

支援方針		「生きる力を育てる」を理念とし、社会性・向上心・自己肯定感を育てる支援	
営業時間		放課後： 11:30～17:30 休校日： 10:30～16:30	送迎：なし
		具体定期的な支援内容	
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来所時に荷物の整理整頓・手洗いを促し、検温を実施。 ・ 排泄の声掛け、介助の実施。 ・ 必要に応じて生活に必要な介助 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ 晴れの日には外遊び中心の集団活動を実施、雨天時は室内でヨガ・ストレッチ・ダンスの取り組み ・ その場面に応じた姿勢保持の声掛け ・ 声の大きさの調整（具体的に）の声掛け ・ 不適切な言動に対して注意や公正の声掛け 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他者の表情を見て自身の行動を考える声掛け・練習 ・ 集団で関わる時のルールやスケジュール、切り替えの重要性を日々練習 ・ 利用中でのスケジュールを計画して取り組む（集団活動以外の時間） ・ 予定の変更に対して受け入れる融通性の育成（状況や理由を理解し受け入れる） ⇒事前に変更になる可能性を伝える事で柔軟に対応できる。 	
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他者と関わる時の適切な声掛けの練習 ・ 相手によって適切な言葉遣いの育成 ・ 自身の気持ちを言葉で表現する事の大切さを伝え育成する。 ・ 利用者の様子を見て必要に応じた代弁と他者との関わり方の言葉かけ 	
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的なルールやマナーを知る事 ・ マイルールを主張する事で他者が嫌な気持ちになる事理解と改善 ・ 他者の感覚を受け入れ、自身の思いを伝える⇒話し合う事の重要性 ・ それぞれ人に合った距離の取り方を身に付ける声掛け 	
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用中の様子をできるだけ詳細に伝える事で保護者と情報共有を図る。 ・ 信頼関係を築き、双方ともに利用者が一番に考えた支援を工夫し実施する。 	
移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて利用中の情報を共有する。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・ 併用事業所との情報共有を図る。 ・ 必要のある利用者に関しては子ども家庭センターや学校、発達支援課との連携を図る。 	
職員の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用後の振り返りをこまめに実施し、記録に残す。 また非常勤スタッフにも情報共有する ・ 1回／月 事業所内研修を実施し、常勤、非常勤全員で意見交換する。 必要に応じて業務やサービス提供の改善につなげる。 ・ より効率的な方法を共有し合う。 	
主な行事		<ul style="list-style-type: none"> ・ 休校日中は季節や場面に応じたイベントを取り入れる。 （事前に保護者には伝達し希望を収集する事もある） ・ 4回／年 保護者懇親会（活動実践含む）を実施、事後アンケートを取る事でより有意義な内容になるよう工夫をする。 	
※備考		<ul style="list-style-type: none"> ・ 2024.12 現在 2名の児童発達支援の利用者が在籍。小学生と一緒に集団活動を始め活動に取り組んでいる。コミュニケーションの取り方や距離の取り方、また集団に於いてのルールを守る事を練習中である。 	

支援プログラム

事業所名： MOMB 石橋

放課後等デイサービス

作成日：令和6年12月26日

支援方針	「生きる力を育てる」を理念とし、社会性・向上心・自己肯定感を育てる支援	
営業時間	放課後： 12:00～17:30 休校日： 10:30～16:30	送迎：あり
	具体定期的な支援内容	
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時に荷物の整理整頓・手洗いを促し、各自検温、必要に応じて酸素濃度の計測を実施 ・睡眠時間の把握と必要に応じて睡眠の重要性を伝達（保護者様と共有） ・発信の苦手な利用者には体調確認の声掛け
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・晴れの日には外遊び中心の集団活動を実施、（雨天時は室内での取り組み） ・その場面に応じた姿勢保持の声掛け ・声の大きさの調整（具体的に）の声掛け ・自身と他者との受け取り方の違いについての声掛け
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の表情を見て自身の行動を考える声掛け・練習 ・集団で関わる時のルールやスケジュール、切り替えの重要性を日々練習 ・利用中でのスケジュールを計画して取り組む（集団活動以外の時間） ・予定の変更に対して受け入れる融通性の育成（状況や理由を理解し受け入れる） ・プログラミング教材を活用し、手順通りに実行することで成果物が完成することを体感
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の特性等を考慮した対応ができるようになる。 ・利用者同士の助け合いの中でも、自立支援を考慮した支援 ・相手によって適切な言葉遣いの育成 ・自身の気持ちを言葉で表現する事の大切さを伝え育成する。 ・主語、述語を正しく使う事で他者に正しく伝わる事の大切さ（誤解を生じさせない言葉の使い方）
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なルールやマナーを知る事 ・マイルールを主張する事で他者が嫌な気持ちになる事の理解と改善 ・他者の感覚を受け入れ、自身の思いを伝える⇒話し合う事の重要性 ・それぞれ人に合った距離の取り方を身に付ける声掛け ・場面を考えて自ら判断したり、行動に移せる力の育成
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・利用中の様子をできるだけ詳細に伝える事で保護者と情報共有を図る。 ・信頼関係を築き、双方ともに利用者を一番に考えた支援を工夫し実施する。 	
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて利用中の情報を共有する。 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・併用事業所との情報共有を図る。 ・必要のある利用者に関しては子ども家庭センターや学校、市町村の発達支援課との連携を図る。 	
職員の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用後の振り返りをこまめに実施し、記録に残す。また非常勤スタッフにも情報共有する ・1回/月 事業所内研修を実施し、常勤、非常勤全員で意見交換する。必要に応じて業務やサービス提供の改善につなげる。 ・より効率的な方法を共有し合う。 	
主な行事	<ul style="list-style-type: none"> ・休校日中は季節や場面に応じたイベントを取り入れる。（事前に保護者には伝達し希望を収集する事もある） ・1回/年 保護者懇親会（活動実践含む）を実施、事後アンケートを取る事でより有意義な内容になるよう工夫をする。 	